

ICTを活用した主体的な授業づくり

～教育資源の共有をめざして～

千葉県立四街道特別支援学校 電話 043-422-2609
FAX 043-424-4679



研究のポイント

本校は、27年度は高等部の遠隔授業の効果やあり方、28年度、29年度はICTを活用した実践をまとめた。今年度は、主体的に学ぶための授業づくりをテーマに掲げ、ICTを活用した他校との交流や校内の交流における実践、タブレット端末による動画や写真を使った振り返りの活用実践をまとめ、教育資源として共有することで、授業のさらなる充実を目指した。

■学校の概要

<http://www.chiba-c.ed.jp/yotsukaido-shi>

本校は、隣接する独立行政法人国立病院機構下志津病院と連携し、病弱教育を行っている特別支援学校であり、児童生徒数75、教職員数87（平成30年12月現在、非常勤講師除く）である。小学部・中学部・高等部からなり、近隣の病院や自宅への訪問教育も行っている。また、遠隔地の病院に小・中学部の院内学級を設け、指導を行っている。近年、病気の多様化や通学生の増加と共に、喘息・肥満等一般慢性疾患の児童生徒が減少し、精神性の疾患をともなう児童生徒、医療的ケアの必要な重度重複障害児童生徒の増加に対応した指導内容の工夫が課題となっている。

■研究課題

ICTを活用した「主体的に学ぶ授業」について、「多様な学びの場」における「学びの機会の創出」を行い、「教育資源の共有」をめざす研究を行う。

■研究の目的と方法

【目的】

全校児童生徒数が少なく、多くの教育課程による学級の少人数化などから少人数の授業になりがちで生活経験が少ない児童生徒が多い。そのような中で、日々の授業においてICTを活用し、共に学び合う機会をつくり主体的に学ぶ姿に繋がった効果的な実践例を全職員で教育資源として共有することで、主体的に学ぶ授業づくりを深める。

【方法】

- 1 グループに分かれICTを活用した実践例を挙げ、話し合いを行う。
- 2 各グループの実践の成果や課題についてまとめる。
- 3 グループ内発表会やポスター発表会を行い全校で周知する。

■研究概要

【取り組みについて】

今年度は、共に学び合う喜びを得られるような授業を行うことが、児童生徒の主体的に学ぶ姿に繋がると考えた。主体的に学ぶ授業を教育資源として共有することをめざし、Web等を活用した他校との交流や校内での交流の実践を深め、動画や写真を活用した振り返りでの活用を進めてきた。それらの授業実践を、グループ発表会や全体の発表会を設けて共通理解するなど、教育資源として共有することができた。

【実践】

1 他校との交流

仁戸名特別支援学校高等部との交流および共同学習

2 校内の交流

(1) 院内学級における院内学級と病室の交流

(2) 病院における注入時の病室同士の交流

(3) 校舎内での普通学級と重度重複学級、重複学級の交流

(4) 学級内での交流

3 振り返りでの活用

(1) 体育

(2) 校外での様子

(3) 作業学習や生活単元学習

(4) 自立活動

(5) 保護者連絡

【成果】

- Web活用による学び合い活動は、校内においても時間や場所の制限を越えて設定が可能。
- 他校との交流だけでなく校内の交流にWebを活用することによって、他の教育課程の児童生徒の学習内容を知る機会となり、校内での交流に繋がる。
- リアルタイムのやり取りが、学習への意欲や興味関心に繋がる。
- 機器の操作や動画や写真などのデータを活用することで、学習への意欲や興味関心に繋がり、学習の定着を図ることができる。

【課題】

- 安定したインターネット環境の整備、機器やアプリケーションソフトの充実。
- Webや機器の活用についての各学習での活用方法を探る。

【今後の方向性】

Webや機器の機能を使って場や学習内容を共有する機会をつくり、学習においての児童生徒同士の繋がりや学習内容を深め、主体的に学ぶ姿をめざして授業づくりを進めていく。また、Web環境や機器の整備を進め、学習に活用していく。